



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.33

R7.9.26

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～ 〔児童数〕 292 名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

災害時、学校が避難所になったら？ ～4年社会科～

4年生は、社会科で自然災害からくらしを守る活動について、過去の事例や各地域の取り組みをもとに学習しています。今日は、学校が実際に避難所となった場合の施設の活用方法や必要な配慮について話し合いました。子供たちからは、トイレや食事、寝る場所など避難生活に必要な場所や導線についての考えのほか、高齢者や体の不自由な方への個室対応など、様々な視点から考えが出されました。身近なくらしの問題から地球規模の問題まで、子供たちの思考が広がっています。



運動の秋、スポーツの秋！ ～校庭に広がる元気な姿～

記録的な今年の夏の暑さも徐々に弱まり、広い校庭にたくさんの子供たちの姿が戻ってきました。遊具遊びにおにごっこ、竹馬に一輪車、サッカーにキャッチボールなど、暑さのために外遊びができなかった日の分を取り戻すかのように、子供たちの元気な姿が広がっています。それぞれが自分たちで遊びのルールを作り、仲間と関わり合いながら、楽しい時間を生み出しています。遊びを通して、体力面だけでなく、主体性や協調性、思いやりの心など、たくさんの力が育っています。運動の秋、スポーツの秋。校庭を駆け回る子供たちの元気な笑顔を見ながら、この過ごしやすいわやかな陽気が長く続きますようにと祈るばかりです。



「ニャーゴ」、その思いを考える ～2年国語～

2年生は、国語で物語文の学習に取り組んでいます。今日の授業では、主人公の発した言葉について、その時の心情を考察していきましました。登場人物の行動の変化から考える子、その前後の文章表現から考える子、読み方や動作を交えながら自分の考えを伝える子など、子供たちが物語の中に深く入り込んでいる様子が見られました。また、この授業は職員研修も兼ねて実施しました。研修会では、よりよい授業づくりに向けて、教職員が活発に意見を出し合いました。子供たち一人一人がよさを発揮し、高め合えるように、我々教師も学び続けます。

